

公表:令和 6年3月1日

あんみアフタースクール

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	20%	80%			基準を満たしている(基準:1名あたり2.47㎡) 当施設 1名あたり2.47㎡(指導訓練室32.2㎡)
	②	職員の配置数は適切であるか	20%	60%	20%		基準: 管理者1名・児発管1名・児童指導員2名・指導員2名以上の配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	20%	60%	20%		既存の戸建て住宅を賃貸している
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%				毎日のミーティングの時間に必要に応じてカンファレンスを随時行い、個別的な支援について話し合いを行っている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				年に一度アンケートを行い、各スタッフが結果を閲覧し、把握しています
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	80%	20%			ホームページで公表しています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	40%			実施なし
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%				外部講師による新任者研修、児童発達支援管理責任者向け研修の受講を実施
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				全体会議によってアセスメントの共有確認をし、それに基づいてスタッフ間で話し合いを行った上で計画を作成しています
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40%	60%			会社で統一したアセスメント用紙を活用
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%				次月の予定を前の月の会議によって事前に立てている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				屋内活動の他、課外活動、公共施設の利用(プール、図書館、体育館)など取り入れているが、感染症予防のため都度状況判断している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%				支援時間の長短に合わせて、集団・個別活動の内容を設定している 個別支援計画に沿って活動内容を設定している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				児童の状況把握をおこなない、保護者の要望を取り入れ計画を作成しています
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%				集団活動の内容を前月の全体会議によって予定を立て、予定表、日報で周知し業務を進めている 細かな内容については管理者からの指示と当日の打ち合わせによって進めている

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			ラインワークス等での共有	気づいた事について、朝のミーティング、送迎終了時などの時間に全員にその都度情報共有をしている	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				個別の日別評価、経過記録によって周知している 全体会議によって検証、支援の改善について話し合っている	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				半年に一回以上のモニタリングをおこない計画内容について見直しをしています	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	80%	20%			基本活動:①自立支援と日常生活充実のための支援 ②創作活動 ③地域交流の機会の提供 ④余暇の提供 ※全てを組み合わせている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				管理者、児発管が出席しています	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%				各学校のホームページを参考にしています 保護者に都度連絡を取っています	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	60%	40%			対象児童の利用予定なし。	現在、医療的ケアが必要な子はいません
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20%	80%				必要性に応じて実施しているが十分な情報量とは言えなかったため今後にもむけて改善していきます
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	60%	40%				相談支援専門員、保護者様と面談や電話での情報共有と連携を図り児童の今後に繋げている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%	20%				児童発達支援センターの定期訪問時に課題のある事柄についてアドバイスをもらっている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20%	40%	40%			町内会や地域の子供たちと場を共有する機会を設けていく
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40%	60%			療育対応を優先して対応ができない場合もある。	自立支援協議会と地域が一体になった活動に参加していたが今年度は感染症予防により活動が中止となっている
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%					連絡ノート、送迎時の引き継ぎ、メールやラインで都度連絡しあっている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	60%	40%				連絡ノート、送迎時の引き継ぎ、メールやラインで都度連絡しあっている 必要に応じて、事業所内相談の機会を設けている

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				契約時に説明を行っている他変更があれば文章にてお知らせをして承認を得ている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60%	40%		デイサービスの支援内容や日々の様子について、主にやり取りをしている。	連絡ノート、送迎時の引き継ぎ、メールやラインで都度連絡しあっている必要に応じて、事業所内相談の機会を設けている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		80%	20%	個人情報保護の観点を大切にして、必要な連携を行っている。	コロナも第五類になりましたので保護者会の開催を予定している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				都度、電話や訪問で聞き取りを行い解決に結び付けています 利用時に個別の支援日誌や送迎の際に報交換を行っております。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				次月予定表を保護者に配布しています SNSで日々の様子を発信し、月末には予定表・会報誌を送付して公表しております。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	100%				目隠しのあるファイル、鍵付き書棚にて個人情報を保護している
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				発語が困難な児童や活動の見通しが個別に必要な児童には、個別の絵カードや文字で示すタイプのスケジュールカードを準備することで情報伝達や双方の確認を行っている
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	60%	40%		系列サ高住と連帯し、行事の交流を行っている	「夏祭り」を実施。保護者からの承諾を得た上でおこなっていく
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%			清掃はマニュアルに沿って感染症予防を重点に行っています ビュラックスによる清拭、食器洗浄を毎日行っています 緊急連絡網を作成しています 災害時の避難場所を保護者にお知らせをしています
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				年二回避難訓練を実施しています
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				外部講師を年に数回呼び研修を実施している
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%			対象となる児童がいらない為、実施していない
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	80%	20%			対象となる児童がいらない為、実施していない
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	60%	40%			ヒヤリハットに関する事例をあげて共有しています

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。